

カタリナ

学報 ━━━━━ 第19号

St.Catherine University

聖カタリナ大学 / 聖カタリナ大学短期大学部

2007.12.1

総会議から学んだこと

学校法人聖カタリナ学園理事長 中田 婦美子



学校法人聖カタリナ学園の経営母体である聖ドミニコ宣教修道女会の第14回総会議は、2007年7月15日にイタリア・ローマ本部で開催された。その選舉集会でシスター・エルビラ・ディエスが本会の第13代総長として再選された。(次ページ写真)

本修道会は会憲の基本憲章で、「聖ドミニコの宣教的カリスマを仰ぎ見、発生当初より極東における宣教を志向してきた」と謳っている。1887年スペインのオカニヤからわずか17名で始められた小さな群れは、120年の歳月を経過してスペイン、ポルトガル、中国、フィリピン、日本、台湾、アメリカ、チリ、韓国、ローマ、タイ、そして新しくカンボディアに修道院を設立するに至っている。現在約630名の会員を有し、将来は中国大陸での宣教再開を希望している歴史の途上に私たちの修道会は立っている。

この総会議で私たちは21世紀という時代の問題にどのように応答するかを真剣に検討してきた。そして本学がドミニコ会の大学として本修道会に所属しているすべての事業所の中でも唯一の高等教育機関として現代社会で果たすべき役割を改めて検証すべきではないかと考える。しかもカトリック国ではない日本にこれほど多くの青年達が学んでいることの重要性を認識し、修道会はその発展に大きな関心をもって見守っている。

今回の総会議がテーマとして掲げた「信仰：私たちの生活とミッション（宣教）の動機づけとその意義」という課題は、ただ単に、私たちの修道生活の規範である会憲や指導書と宣教活動に関する検討や現状報告の問題だけではなく、実に本学の建学の精神が現代社会に求められているミッション（使命）に深く関わりがあるということ也非常に興味深いことであった。特に今年の総会議は二つの点で特別の意味を持つものであったといえる。

第一に1965年にローマカトリック教会が第二バチカン公会議を通して世界にむけて開かれた教会としての大改革をおこなった時、世界は二つの大戦を経て信仰と社会の価値観は大きく変貌してゆく時代の到来を告げていた。教会は世界の平和と魂の救済のために何をなし得るかが問われ、すべての修道会も「修道生活の刷新と適応」という指針に従って根本的な見直しを行うべきであるという要請を受けた。本会では通常の総会議とは別に緊急に1969年7月に特別総会議がスペインのパレンシアで開催された。その時以来38年ぶりに6年の準備期間を経て本総会議において始めて従来の会憲と指導書について抜本的な検討を重ね、種々の改正に踏み切ったことは修道会の歴史でも画期的なことであったといえる。

第二は本修道会の当初の設立目的は東洋の宣教活動を目指すものであったが、常にその時々の必要によって東洋に限定せずに拡大していった。しかし、もう一度設立の原点にもどり世界が貧困と戦乱、差別と暴力に苦しむとき、総会議が東南アジアに再び目を向け正義と平和のために「福音宣教の特権的場所として学校教育を再確認し、新たな挑戦課題として困窮者、社会から疎外された人々を明確に選択した」ことは大きな意義があったと思う。

本会の創立者である聖ドミニコが13世紀の伝統的な修道生活とは異なる仕方でその時代としては全く新しい展望をもって将来に挑戦していったとき、彼は誰よりもその時代を正しく理解し、その要請に応えることの出来る現実の人であったということである。21世紀の学生達には彼らが将来社会の構成員として世界に貢献でき、隣人のために何が出来るかを考える人として生きるための動機づけとその意義が必要であるはずだ。

人類はかつて体験したことのない高度な科学技術開発によって恩典に浴しながら、同時に生命が破壊され喪失しているという矛盾の中にあるからこそ人間存在の確固たる信念を求めている。神の似姿として創造された人間の尊厳ゆえに、世界のすべての民族を兄弟として愛し、人類共同体の連帯意識を持ち平和のために奉仕する精神こそ本学のキリスト教的ヒューマニズムの志向するところである。

第二バチカン公会議において発布された、「キリスト教的教育に関する宣言」の中で特にカトリック大学は、現代の進歩する新しい問題と研究成果を慎重に考慮し、ドミニコ会の教会博士である聖トマス・アクイナスの例にならって、「信仰と理性がどのようにして唯一の真理に合致するかをより深く理解する」(No. 10) 必要性を説いている。21世紀のドミニコ会は21世紀の現代に適応したやり方で教えなければならない。かつて故ヨハネパウロ二世前教皇は「カトリック大学憲章」の冒頭に述べているように、カトリック教会の「心臓部から生まれた大学」は、青年の養成に特別な関心をはらい、信仰と理性の統合により真理と愛が人類の未来を創造する大きな力であるとの証人となるべきであることを教えている。

昨年現教皇ベネディクト16世はドイツ、レーゲンスブルグ大学で講演を行ったとき、理性と信仰についての新たな展望を示している。人類は科学と理性がもたらす新たな可能性を享受する一方で、その可



聖ドミニコ宣教修道女会
第13代総長
Sister Elvira Diez, O.P.

能性から生じたあらゆる危機にも直面している。このような危機を克服するために人間の理性は新たな仕方で信仰に統合すべきであり、理性はその限界から解放され、キリスト教信仰の偉大な経験と洞察との対話こそが大学の使命であると考える。

かつて初代教会の聖パウロはすべての人に対してどのようにあるべきかを教えてくれた。「私は神の律法を持っていないわけではなく、キリストの律法に従っている者であるが、律法を持たない人に対しては、律法を持たない人のようになりました。律法を持たない人を得るためにです。弱い人に対しては、弱い人のようになりました。弱い人を得るためにです。すべての人に対してすべての者になりました。何とかして何人かでも救うためです。」(コリントの信徒への手紙 I , 9 : 21 – 23)

現代のドミニコ会の大学は現代の人々のために存在する大学でありたいと思う。800年の伝統とその精神性を持つ大学として現代に生きる若者を何とかして何人かでも救うためにすべてとなることを考えなければならない。伝統の偉大さとはまさにそれがその時代にどれほど普遍的意味をもつかによるということを私はこの総会議から学んだように思う。



●カタリナ子育て支援ひろば「ぽけっと」開設

聖カタリナ大学短期大学部では、平成20年1月7日（月）から、カタリナ子育て支援ひろば「ぽけっと」を開設します。「ぽけっと」は、松山市子育て支援拠点事業の趣旨に沿って、本学保育学科の持つ保育に関するノウハウや人的資源を活用し、松山市北条地区において子育て支援を行います。

平日の10:00～15:00に「ぽけっと」を開所し、地域の子育て中の親子（概ね3歳未満）の交流の場を提供します。また、講習会「ぽけっとクラブ」の月1回開催、「子ども健康相談」「食育相談」などの相談会の実施、地域子育て情報誌の発行など、子育てに関する様々な支援を行う予定です。詳しくは本学ホームページをご覧ください。



細川佳代子さんの講演

●人間健康福祉学部開設記念フォーラム

来春の人間健康福祉学部の開設を記念し、「あなたの笑顔がみたいから」と題したフォーラムを、10月26日（金）聖カタリナホールにて開催しました。

認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本名誉会長の細川佳代子さんによる知的発達障がい者のスポーツ活動を支援するスペシャルオリンピックス（SO）の活動についての講演、続いて本学卒業生の細川公子さんによる乗馬や畑での農作業などの身体活動を通じたセラピーやSOの取り組みについての紹介が行われました。最後に参加者全員で本学教員考案のオリジナル体操を行い、閉会しました。

●2007年度大学祭

2007年度大学祭「感謝～ありがとうを込めて～」が、10月26日（金）～28日（日）に開催されました。サークルや各種団体の模擬店・バザーや展示、チャリティーオークション、パイオルガン演奏会など、様々な催しで大いに賑わいました。



●社会福祉学部教育懇談会

社会福祉学部では、11月23日（祝）に学生保護者の方々を大学に招き、平成19年度教育懇談会を開催しました。学長、理事長挨拶の後、授業や学生生活、就職活動、国家試験対策などについて、本学の現状の取り組みについて説明を行いました。その後の懇談会では、保護者の方々からたくさんのご意見をいただきました。懇談会の閉会後には、希望する方に教員との個別面談の場が設けられました。

●保育学科リカレントセミナー

第8回保育学科リカレントセミナーを、11月23日（祝）に開催しました。

保育・幼児教育の現場で現在活躍の方々に、音楽療法やピアノレッスンなどの講座で楽しく学んでいただきました。



◆◇ 平成19年度前期行事 (H19.4.1～H19.9.30) ◇◆

月	日	曜	区	行 事
4	1	日		前学期開始
	2	月		辞令交付
		大	教授会、選考教授会	
		短	教授会	
	3	火		入学式
		大	社会福祉実習委員会	
	4	水		オリエンテーション (~4/6)
	5	木		会計監査 (~4/6)
	6	金		研究紀要委員会、国際交流委員会
		大	人事委員会	
9	月			前学期授業開始
		大	教職課程委員会	
	10	火	短	カタリナキャンプ[健康]
11	水			広報委員会、ボランティアセンター運営委員会、学生相談室委員会
13	金			介護技術講習公開抽選、生涯学習推進委員会、入試・募集委員会
		大		入試・募集委員会大学部会
		短	健康栄養学科会議	
14	土	大		カタリナキャンプ[大学] (~4/15)
		短		カタリナキャンプ[保育]
16	月	大		就職委員会大学部会
18	水	短		入試・募集委員会短大部会
19	木			人間文化研究所所員会
20	金	短		保育学科会議
21	土			職員互助会歓迎会
24	火			ボランティアセンター運営委員会
25	水			障害学生支援委員会、入試・募集委員会
26	木			キリスト教研究所所員会
27	金			留学生委員会、学生寮運営委員会、就職委員会合同部会
		大		社会福祉実習委員会
29	日			学園創立記念日
5	9	水		図書委員会、ボランティアセンター運営委員会、奨学生選考委員会
	10	木		健康相談、会計監査 (~5/11)
	11	金	大	社会福祉士国家試験対策講座、まつやまシニアカレッジ
			短	教授会
	12	土	大	社会福祉士国家試験対策講座
	13	日	大	社会福祉士国家試験対策講座
	15	火		母をたたえる日
		大		人事委員会
	16	水		ボランティアセンター運営委員会、人間文化研究所所員会
	17	木	大	入試・募集委員会大学部会
18	金	大		教授会、社会福祉士国家試験対策講座
		短		保育学科会議、健康栄養学科会議
19	土	大		社会福祉士国家試験対策講座
20	日	大		社会福祉士国家試験対策講座

月	日	曜	区	行 事
5	23	水		高校教諭対象大学説明会(本学)
	24	木		高校教諭対象大学説明会(新居浜)
	25	金		高校教諭対象大学説明会(宇和島)
		大		F D委員会、社会福祉士国家試験対策講座、まつやまシニアカレッジ
		短		日本学生支援機構奨学生選考面接
	26	土	大	社会福祉士国家試験対策講座
	29	火		精神保健相談
	30	水		高校教諭対象大学説明会(中村)
	6	1	金	ボランティアセンター運営委員会
			大	社会福祉実習委員会、社会福祉士国家試験対策講座
			短	教授会
		2	土	後援会役員会
			大	社会福祉士国家試験対策講座
		3	日	社会福祉士国家試験対策講座
		4	月	教育実習[社4] (~6/16)
			短	幼稚園教育実習[保2] (~6/15)、給食実務論実習[健2] (~6/9)
		5	火	ボランティアセンター運営委員会
		6	水	北条高校1年生大学見学
			大	選考教授会
	7	木		健康相談、北条高校2年生大学見学
			大	日本学生支援機構奨学生選考面接
	8	金	大	教授会、拡大学評議委員会、まつやまシニアカレッジ
			短	保育学科会議
	9	土		故上妻久恵名誉理事長お別れの会
	11	月		就職委員会
		大		インターンシップ[経2] (~6/16)
	13	水		ボランティアセンター運営委員会
			短	入試・募集委員会短大部会
	14	木		身体測定[教員] (~6/15)



母をたたえる日 [5/15(火)]



社会福祉実習連絡会 [6/26(火)]

月	日	曜	区	行 事
6	15	金	短	健康栄養学科会議
18	月		身体測定[職員]	(～6/19)
		大	精神保健福祉援助実習[社4-1班]	(～7/10)
20	水		ボランティアセンター運営委員会、事務連絡会、人間文化研究所フォーラム	
21	木		カタリナ奨学生 1種選考面接	
22	金		健康診断諸検査、まつやまシニアカレッジ	
23	土		オープンキャンパス、四国インカレ	(～7/1)
25	月		ボランティアワーク	(～6/30)
26	火		精神保健相談	
		大	社会福祉実習連絡会	
27	水		カタリナ奨学生 1種選考面接(再)	
28	木		事務職員採用試験(一次)	
29	金	大	社会福祉実習委員会	
30	土		ボランティアワーク(チャリティーコンサート・バザー・企画展)	
7	4	水		事務職員採用試験(二次)、奨学生選考委員会、東温高校P.T.A大学見学
5	木			入試・募集委員会、健康相談
		大	教職課程委員会	
6	金		ボランティアセンター運営委員会	
		大	まつやまシニアカレッジ	
		短	教授会	
7	土		介護技術講習	
8	日		介護技術講習	
9	月	大	介護福祉士養成施設指導調査	
10	火	短	保育士養成施設指導調査	
11	水		学生による授業評価	(～7/24)
12	木		事務連絡会、健康スポーツマネジメント専攻施設計画委員会	
13	金	大	教授会、大学評議委員会、社会福祉士国家試験対策講座	
		短	保育学科会議	
14	土		介護技術講習	
		大	社会福祉士国家試験対策講座	
15	日		介護技術講習	
		大	社会福祉士国家試験対策講座	
16	祝	大	社会福祉士国家試験対策講座	

月	日	曜	区	行 事
7	18	水		健康スポーツマネジメント専攻施設計画委員会、人間文化研究所フォーラム
			短	入試・募集委員会短大部会
	19	木		奨学生面接、キリスト教研究所所員会、内科検診
	20	金		第1回大学祭についての話し合い、合同研究紀要編集委員会
		大		まつやまシニアカレッジ、社会福祉士国家試験対策講座
		短		健康栄養学科会議
	21	土	大	社会福祉士国家試験対策講座
	22	日	大	社会福祉士国家試験対策講座
	24	火	大	前学期授業終了
	25	水		キリスト教研究所フォーラム、展示室設置計画実施委員会
		大		前学期試験(～7/31)
		短		保育実習II(保育所)[保2](～8/4)、保育実習III(施設)[保2](～8/4)、学科長会議
		金	大	社会福祉実習委員会、大学教務委員会
8	27	土		愛媛県大学ガイダンスセミナー(松山大学)
		大		社会福祉学部公開講座「はじめよう、高齢者のフットケア」
	31	火		精神保健相談
		短		前学期授業終了
9	1	水		夏季休業(～9/24)
		大		人事委員会、社会福祉士全国統一模擬試験
	2	木	大	介護福祉実習[介2](～8/22)
		短		教授会、人事委員会
	3	金	大	教授会、選考教授会
	5	日		オープンキャンパス
	8	水		聖ドミニコの日
		大		精神保健福祉援助実習[社4-2班](～9/6)
	9	木		事務職員研修会
		短		教務委員会短大部会
	23	木		介護技術講習
	24	金		介護技術講習
	27	月	大	介護福祉実習[介3](～9/22)
	29	水		介護技術講習
	30	木		介護技術講習
10	10	月	大	社会福祉士国家試験学内対策講座(～9/20)
	19	水		奨学生選考委員会
		短		入試・募集委員会短大部会
	23	日		オープンキャンパス
	24	月		前学期終了
	25	火		後学期開始、履修ガイダンス、奨学生選考委員会、学園奨学生面接指導
		短		入試・募集委員会短大部会
	26	水		後学期授業開始、入試・募集委員会
	27	木		事務連絡会
		短		教授会
	28	金	大	教授会
		短		保育学科会議
	29	土	大	社会福祉士国家試験対策講座

◆◇人事◆◇

《平成19年6月1日付け》
【新規採用】
総務課
事務職員(非) 渡邊 まどか

《平成19年7月1日付け》
【新規採用】
社会福祉学部
講師 大槻 育

《平成19年8月27日付け》
【新規採用】
会計課
用務員(非) 梶原 栄二
" 和田 秀子

《平成19年8月31日付け》
【退職】
会計課
用務員(非) 西原 純一
" 西原 ハルコ

《平成19年9月30日付け》
【退職】
学生支援課
事務職員 浅井 久子

《平成19年10月1日付け》
【新規採用】
学生支援課
事務職員 野本 玲子

《平成19年11月1日付け》
【新規採用】
入試広報課
事務職員(非) 大堀 志保

《平成19年11月30日付け》
【退職】
学生支援課
事務職員(非) 山下 真紀

◆◇平成19年度教授会議題◆◇

【聖カタリナ大学教授会議題】

H19.4.2 第1回

1. 退学について
2. 除籍について
3. 科目等履修生の受け入れについて
4. 聴講生の受け入れについて
5. 聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部ネットワークシステム利用規程の一部改正について
6. 聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部インターネット利用規程の一部改正について
7. 平成20年度聖カタリナ大学入試概要（案）について

H19.5.18 第2回

1. 「大学コンソーシアムえひめ」について
2. 退学について
3. 復籍について

H19.6.8 第3回

1. 退学について

H19.7.13 第4回

※審議事項なし

H19.8.3 第5回

1. 聖カタリナ大学の学則の一部改正について
2. 前期末卒業予定者の卒業の認定方法について

H19.9.28 第6回

1. 卒業の認定について
2. 退学について
3. 除籍について

4. 科目等履修生の受け入れについて

5. 聴講生の受け入れについて

【聖カタリナ大学短期大学部教授会議題】

H19.4.2 第1回

1. 退学について
2. 科目等履修生の受け入れについて
3. 聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部ネットワークシステム利用規程の一部改正について
4. 聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部インターネット利用規程の一部改正について
5. 平成20年度聖カタリナ大学短期大学部入試概要（案）について

H19.5.11 第2回

1. 平成20年度入試概要（AO入試）について

H19.6.1 第3回

1. 「大学コンソーシアムえひめ」について

H19.7.6 第4回

- ※審議事項なし

H19.8.2 第5回

1. 前期末卒業予定者の卒業の認定方法について

H19.9.27 第6回

1. 卒業の認定について
2. 退学について
3. 科目等履修生の受け入れについて
4. カタリナ子育て支援ひろばの開設について

●クリスマス・イルミネーション点灯!!

恒例のクリスマス・イルミネーションを、以下の日程で点灯します。どなたでも自由に見学できますので、お気軽に立ち寄りください。

期 間：12月3日（月）～25日（火）
(土・日・祝日も点灯)

場 所：聖カタリナホール前

時 間：午後4時～午後9時



(昨年のイルミネーション)

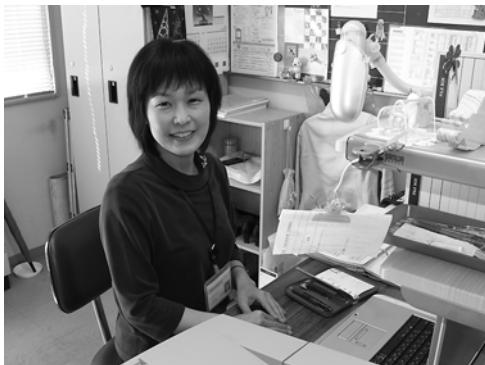
◆◇ 平成19年度サークル活動状況 ◇◆

(平成19年11月20日現在)

サークル名	期間	大会名等	開催場所	参加人数	結果
バドミントン部	6/29~7/1	第58回四国地区大学総合体育大会	愛媛県総合運動公園体育館	10	個人:松本麻実 ベスト16
女子バスケットボール部	5/19~5/20	四国学生バスケットボール新人戦大会	香川県立体育館・香川大学	10	3位
	5/27~5/30	第56回西日本学生バスケットボール選手権大会	大阪市中央体育館 大阪府立体育会館	10	
	6/23~6/24	第58回四国地区大学総合体育大会	松山大学文京キャンパス第1体育館 愛媛大学第1体育館	8	3位
	7/13~7/15	第24回日本女子学生選抜バスケットボール大会	東区スポーツセンター(広島県)	3	四国選抜選手として参加: 鈴木美奈代・石川万里加・鴻上伶奈
	10/13~10/14	全日本学生バスケットボール選手権大会四国予選	高知大学・高知女子大学体育館	9	3位
男子バスケットボール部(同好会)	5/19~5/20	四国学生バスケットボール新人戦大会	香川県立体育館・香川大学	9	
	6/23~6/24	第58回四国地区大学総合体育大会	松山大学文京キャンパス第1体育館 愛媛大学第1体育館	9	
	10/13~10/14	全日本学生バスケットボール選手権大会四国予選	高知大学・高知女子大学体育館	10	
バレーボール部	5/12~5/13	第36回四国大学バレーボール春季リーグ戦大会	松山大学御幸キャンパス体育館	10	
ビーチバレー部(同好会)	4/27~4/29	ファイテンビーチバレーJBVツアーニューステーション2007	愛知県知多市 新舞子マリハーフ	1	
	5/4~5/6	ファイテンビーチバレーJBVツアーニューステーション2007	東京都港区お台場ビーチ	2	
	5/13	HIMEカップ	五色姫海浜公園	2	濱口康司・友澤(他大学) 優勝
	5/19	ビーチバレー宮古島大会2007	ウインディマイばま(沖縄県)	3	濱口康司・丸山翔大 ベスト8
	6/10	HIMEカップ	五色姫海浜公園	2	
	6/24	ビーチバレージャパン愛媛県大会	五色姫海浜公園	1	濱口康司・友澤(他大学) 優勝
	7/8	四国大学ビーチバレー選手権大会 兼ひあCup2007全日本インカレ予選	大的場海岸(香川県)	2	濱口康司・丸山翔大 優勝
	7/15	ビーチバーフェスティバルinいよし	五色姫海浜公園	2	濱口康司・岡本(他大学) 準優勝
	7/28~7/29	第20回Sun-inビーチバレー大会	鳥取県境港市新屋町海岸	1	
	8/2~8/5	ひあCup2007全日本インカレ	須磨海水浴場特設コート(兵庫県)	4	団体:ベスト16
	8/23~8/26	第21回ビーチバレージャパン	神奈川県藤沢市 鶴沼海岸	1	17位
	9/29~9/30	第9回吉田カップ	21世紀の森ビーチ(沖縄県)	1	
剣道部	4/22	第62回国民体育大会 剣道競技候補選手選考会 第2次選考会(成年女子の部)	愛媛県武道館	1	志賀真央 第3位
	4/22	第62回国民体育大会 剣道競技候補選手選考会(成年男子の部)	愛媛県武道館	1	
	5/12	第62回国民体育大会 剣道競技候補選手選考会 第3次選考会(成年女子の部)	愛媛県武道館	1	志賀真央 第1位
	5/19	第54回中四国学生剣道選手権大会 第39回中四国女子学生剣道選手権大会	高松市総合体育館	11	小窪 瞳 優勝 林 映里・見浦 芳 ベスト8
	5/26~5/27	第52回西日本学生剣道大会 第22回西日本女子学生剣道大会	福岡市民体育館	7	
	6/24	第19回愛媛県女子剣道選手権大会	愛媛県武道館	13	志賀真央 ベスト4 追 美由紀・小窪 瞳・奥田美香 ベスト8
	7/1	第58回四国地区大学総合体育大会	愛媛県武道館	7	団体:優勝
	7/7~7/8	第41回全日本女子学生剣道選手権大会 第1回全日本女子学生剣道東西対抗試合	大阪府立体育会館	2	
	8/15~8/18	夏期剣道合同合宿	兵庫県立武道館	16	
	8/26	第34回中四国女子学生剣道優勝大会	岡山県総合グラウンド 桃太郎アリーナ	7	団体:5位
	11/4	第43回全日本基督教関係大学剣道大会	関西学院大学 上ヶ原キャンパス総合体育館	10	木村純子 ベスト8
ダンス部	5/26	ダンス発表会	今治市公会堂	1	
なぎなた部	8/5	第46回全日本学生なぎなた選手権大会	岡山県体育館・桃太郎アリーナ	2	演技競技:小澤玲緒・尾崎千恵 ベスト8
水泳部	5/13	第11回広島県学生選手権水泳競技大会	広島修道大学フォーラムプール	3	
	6/23~6/24	第58回四国地区大学総合体育大会	松山大学御幸キャンパスプール	3	個人:石井 愛(大会新記録)
	7/7~7/8	第38回中国四国学生選手権水泳競技大会	宇部恩田プール(山口県)	3	
陸上部	6/30~7/1	第58回四国地区大学総合体育大会	愛媛県総合運動公園陸上競技場	1	
卓球同好会	5/26~5/27	第41回春季リーグ四国学生卓球選手権大会	香川県立体育館	6	ダブルス:曾我部将人・野田佳宏 ベスト16 シングルス:曾我部将人・野田佳宏 ベスト8
	6/22~6/23	第24回中国・四国学生卓球選手権大会	松山市総合コミュニティーセンター	3	ダブルス:曾我部将人・野田佳宏 ベスト16
	6/29~6/30	第58回四国地区大学総合体育大会	松山市総合コミュニティーセンター	6	シングルス:野田佳宏 ベスト16 ダブルス:森繁宗太郎・小野雄弥 ベスト16
	6/30~7/1	第38回四国学生卓球新人戦	松山市総合コミュニティーセンター	5	シングルス:野田佳宏 ベスト16 ダブルス:曾我部将人・野田佳宏 ベスト4
	8/20~8/21	第41回秋季リーグ四国学生卓球選手権大会	高知市総合運動公園体育館	5	団体:5位 シングルス:野田佳宏 ベスト16
フットサル部(同)	6/30~7/1	第58回四国地区大学総合体育大会	愛媛大学第1体育館	15	
フィギュアスケート愛好会	10/5	伊予鉄スポーツセンターオープンイベント	伊予鉄スポーツセンター	1	
	10/20~10/21	第80回日本学生氷上競技選手権大会選考 競技大会 兼 第1回西日本学生フィギュアスケート選手権大会	関西大学アイスアリーナ	1	団体:Bクラス 3位 個人:Bクラス 竹井達也 3位
	7/22	ボランティア	つくし園	2	
MEG(MerryEventGreat)	8/27	ボランティア	いつきの里	10	
	9/11	交流会	野外活動センター	18	

◆◇ 研究室探訪 ◇◆

聖カタリナ大学
社会福祉学部准教授 畔地 利枝



現在、本学の児童福祉論を担当させて頂き思うことは、人の成長において、子ども期に出会う人々との関わりが子どもの成長にいかに影響を与え、それがいかに重要であるかということです。

自身の子ども期を振り返ると、親をはじめ、親戚、近隣、友人、学校の先生と実際に様々な人の出会いと交流がありました。どの関わりも、その時々で大事なものであり、自身は一生懸命にその関わりの中にいたように思います。しかし、それら大事な関わりを懸命に過ごすのが精一杯で、時に漠然と重大なことも受け流して過ごしてきたようにも思います。ある程度成長し大人に近づくとようやく、よりよい人間関係の構築を目指し、努力するとまではいかないまでも、考えるようになりました。

子ども期に、人の優しさ、強さ、協調性等々、人が生きていく上での道理や方法を知らぬ間に学んでいました。いつしか、正義や奉仕の言葉を知り、自身の目標としていたように思います。“福祉”的意識が顕在化した時期といえるかもしれません。

大人期に差し掛かる大学時代は、本学で社会福祉を学問として学ばせて頂きました。これまで漫然とやり過ごしてきたことが整理され、系統立った理論として理解するチャンスを得たのです。そして、自分だけの世界にとどまらず、広く“人の生活”というものを捉えていこうとす

◆◇ 新任教員紹介 ◇◆

①生年月日 ②最終学歴 ③現職
④主要担当科目 ⑤就任年月日



大槻 毅
おおつき たけし

①1975年6月17日
②筑波大学大学院博士課程体育科学研究科
③聖カタリナ大学社会福祉学部講師
④機能解剖学、臨床体力学、健康スポーツ実習（2008年度開講予定）
⑤平成19年7月1日

るに至ったのです。自分の世界を飛び出すと、実に様々な人がおり人生があり、その生活も多様でした。自分の世界だけで過ごしていた時期には、全く思いもつかなかつた世界があることを知ったのです。

さらに、大学院生時代に保健福祉学の研究科に属し、“健康”というテーマに出会います。大学時代に学んだ社会福祉の視点から、とりわけ社会的健康に注目することになりました。社会的健康は、人間関係、社会関係における健康状態のことです。これは、常に身体的な健康と、精神的な健康が繋がり影響し合っています。健康の3側面（身体・精神・社会）が繋がっていることを学ぶと同時に、未熟で浅はかな自身の人生で得た重要なテーマも繋がっている事に気付きました。福祉、人の生活、健康、これらは切り離して考えることができないのです。

折しも、来年度より本学は、人間健康福祉学部として新たなスタートを切ります。前述のような未熟な経験を通じて得たことが集約された新学部にいられることは、大きな喜びあります。計り知れないこの機会に、偶然にも立ち合わせていただけることに感謝せずにはいられません。

聖カタリナ大学・短期大学部学報
〒799-2496 松山市北条660
TEL. 089-993-0702(代)
<http://www.catherine.ac.jp>

編集・発行
聖カタリナ大学
聖カタリナ大学短期大学部
広報委員会
kouhou@catherine.ac.jp